

## 校訓に関する調査結果

学校名	校訓	経緯	掲示方法
朝日小	なし	・「あかるい子 あたたかい子 あくまでがんばる子」が、校訓的意味合いをもっている ・朝日東小学校百年誌には「教育目標(昭和)」「目指す児童像(平成)」と記されているが、60年以上受け継がれている。 昭和34年に刀禰康隆校長が、朝日小学校の伝統と子どもの実態を考へて、教育目標として作った。平成、令和と児童を支える最も大切なフレーズとして受け継がれている。	・体育館の正面ステージの右横の上方(揮毫) ・職員玄関の壁(揮毫)
常磐小	なし		
糸生小	なし		
宮崎小	なし	「思いやりのある子 自ら学ぶ子 やりぬく子」が、平成前後の「めざす児童像」として存在	玄関額
四ヶ浦小	はげまし合う子 元気な子 自ら学ぶ子	不明	体育館 印刷 校長室 印刷
城崎小	よく遊び よく学べ	平成6年4月に初代校長の中橋鎧治校長が校訓にした理由を4つ説明していた。 1) 現在の子どもをみていると、「外で遊べない」「仕事が下手」「道具が使えない」「情緒不安定のものが多い」「感性(センス)、直観、ひらめき(アイデア)が劣る」「友達つきあいができない」などの実態がある。 2) 言動に頭でっかちさが目立つ。1)と2)の実態の原因は、遊び(働く)の体験不足からきていると推察される。 3) 小学校教育では、子どもたちに「遊び(働き)」と「学習」の調和のとれた生活を送らせたい。子どもの生活は遊び(働き)の中で学ぶ「知恵(無意図的教育)」と読み・書き・そろばん等の学習によって学ぶ「知識(意図的教育)」とが、調和-総合させることによって充実し、人間としての基礎を育てることになると考えられる。 4) 「よく遊び、よく学べ」は、単純で誰にでも理解できる表現である。	石碑、体育館の左上に揮毫(額縁)
織田小	なし	O・・・思いやる子 T・・・高め合う子 A・・・明るい子	掲示はしていない
萩野小	なし		
朝日中	「進取」 「精思」 「創造」	2009年(平成21年)4月 朝日中学校落成式パンフレットより校訓について 朝日中学校と糸生中学校が統合し、新しい朝日中学校として出発します。両校にはそれぞれに先人が築いた輝かしい伝統と歴史があり、その伝統と歴史を踏まえ新しい歴史を作り上げて欲しいと願うものです。	体育館ステージ向かって右上に、揮毫されたパネルが掲示されています
宮崎中	みずから求めて 進み そして 自分の最善をつくす	いつ 昭和37年 どのように 当時の校長先生(木原肇さん)がつくられた。	石碑(生徒玄関前) 揮毫(校長室、職員室)
越前中	自立 克己 誠実	校訓の経緯は不明です。 校訓が下記のとおり変更になっていました。 昭和48年 昭和53年 「誠実」「責任」「勤労」制定 昭和54年～現在 「自立」「克己」「誠実」制定	校長室(揮毫)、1～3年普通教室(印刷)、体育館ステージ右側(揮毫)、生徒玄関(印刷)
織田中	「啓智」 「成徳」 「錬磨」	昭和58年の現校舎建設時(校舎移転時)に新たに定められた。 それまでは織田中学校に校訓はなかった。	すべての教室と体育館に額として掲示。校門横「育双園」に石碑として設置。